

台高山系 絵馬小屋谷遡行

【日 時】 平成 29 年 8 月 20 日 (日)

【メンバー】 Y (L)、 T

【概 要】

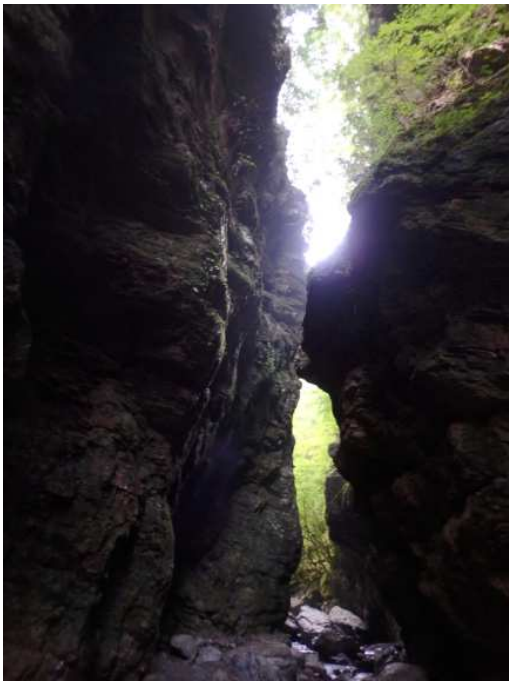
8 月 20 日 (日) 晴れのちガス 夕方雷雨

土曜日夜は蓮ダムの横でテント泊し、朝に林道終点まで車が入る。終点には車は無く、今日は我々だけのようである。やはり野江股谷の水は少し濁っているが、絵馬小屋谷は澄んだきれいな流れである。しばらく辿ると行合で、切り立ち狭まった崖の下を簡単に通過できる。しかし、よくこれだけ浸食されたものと感心する。また平凡となり、しばらく行くと谷が薄暗くなり、五ヶ所滝ゴルジュに入口到着。めぐり取られたような滝が奥に見えている。ゴルジュ入り口の 4m 滝は、事前に滝裏のチムニーを教えてもらっていたのでロープを付けて行ってみる。滝裏をくぐり、少しの泳ぎで滝裏に回り込むと、なるほど広いチムニーがある。リュックを置き、空荷でシャワーを浴びながらつつぱりで上に抜け、荷揚げして T さんをビレーする。テラス状となっており、眼前はねじれた滑り台のような 2 番目の滝である。ここは取り付くしまも無いためあっさりと右岸高巻きに入る。右横の足下には、ツルツルの壁の間に滝と奔流が垣間見える。ロープ無しで高巻きを終え、一息ついた。

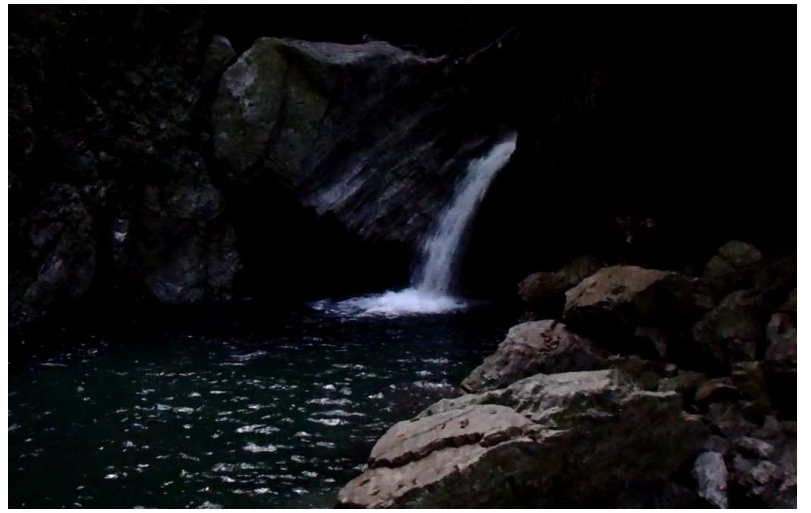
しばらく平凡となり、次の難所は 18m 滝であった。ここは兩岸とも崖が立っており、滝も下部は立った壁である。滝右のクラックを登っている記録はあるが、立っていて悪そうなので止め、右のバンドの取り付まで行ってみる。バンドに上がる部分に手がかりがなく、カムも決まらない。ここは、以前はお助けスリングがあったようだが、今は見当たらない。しばらく試していたが岩が滑るためあきらめ、左岸から大高巻きすることとする。弱点を探しながら左上の後バンドをトラバースして 3 ピッチかけ、一部懸垂を入れて滝上流に降り立った。この高巻きに 1 時間使ったが、ここが今回の核心であった。

次の石谷滝は左岸から容易に巻け、白倉滝も右岸から容易に巻けた。白倉滝上のナメ滝を直上し、後は水流にしたがって詰めて行くと白倉山の東稜線に登り着いた。少しで白倉山頂に到着、ここからの地図読みを怠ったため古ヶ丸山方向に行ってしまう、古ヶ丸山を往復した後下山した。白倉山から古ヶ丸山への稜線にある「大熊落とし」は、どんな熊でも落ちるであろう急な岩場であった。

入谷 6 時 30 分 白倉山 12 時 50 分 下山 17 時 30 分



行合



五ヶ所滝ゴルジュ入り口



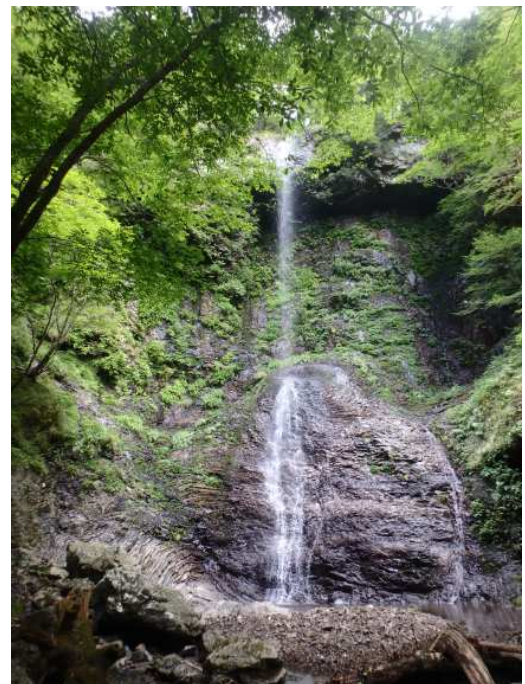
18m 滝



五ヶ所滝ゴルジュ



石谷滝



白倉滝